

令和7年度

(第1回)

豊橋市 子ども・子育て会議

日 時 令和7年7月24日(木)
場 所 豊橋市役所 西館7階 第2委員会室

令和7年度 第1回
豊橋市 子ども・子育て会議

日時：令和7年7月24日（木）
午前10時～午前11時

場所：豊橋市役所 西館7階 第2委員会室

豊橋市子ども・子育て会議 出席者14名

事務局

ただいまから令和7年度第1回豊橋市子ども・子育て会議を開催させていただきます。
はじめに豊橋市こども未来部長よりごあいさつ申し上げます。

こども未来部長よりあいさつ

事務局

ありがとうございました。続きまして佐野会長よりごあいさつをいただきます。

佐野会長よりあいさつ

事務局

ありがとうございました。

委員の欠席については名簿の通りですが、今回から新たに委員となった方について、名前のみ紹介いたします。

豊橋市議会 福祉教育委員会 委員長 石河 様

愛知県東三河児童・障害者相談センター 児童育成課長 金田 様

豊橋市小中学校PTA連絡協議会 副会長 藤原 様

豊橋保育協会母の会連合会 会長 中井 様

よろしく願いいたします。

それでは議事に入る前に、資料の確認をします。

事前に送付した資料は、次第と資料1から資料3までです。本日、机上に配布した資料は、委員名簿と、配席図になります。

それではここからは会長に議事進行をお願いいたします。

佐野会長

それでは議題1「第2期豊橋市子ども・子育て応援プランの評価指標について」事務局から説明をお願いします。

事務局より議題1について説明

佐野会長

ありがとうございました。

何か質問等ありますでしょうか。

佐野会長

続きまして、議題2「豊橋市こども計画2025-2029について」事務局から説明をお願いします。

事務局より議題2について説明

佐野会長

ありがとうございました。
何か質問等ありますでしょうか。

佐野会長

豊橋市子ども計画概要版には子どもたちの声が抜粋されているが、どのくらいの意見の中からどのような基準で抜粋したのか。

事務局

意見を聞く取り組みでは概ね3,000人から意見をいただきました。
自由意見の中で子どもから特に多かった意見を年代別でまとめ、本市のまちづくりの視点で各部局に対し意見を投げかけたうえで、年代や市の施策を考慮して抜粋しました。
豊橋市子ども計画本編では、多くの意見を掲載しています。

後藤委員

昨年度の会議で説明があった子育て応援駐車場について、高齢者と障害者、妊婦等が利用できる駐車場として整備を促進するものと考えていたが、先月の新聞に掲載された図を見ると、妊婦や小さなお子さんを連れた方のみが利用できるような印象を受けました。年齢や障害に関係なくみんなが使える広い駐車場として事業を進めていただきたい。

事務局

障害のある方は既存の車椅子利用者用駐車施設を利用される方もいるが、この数を減らして子育て応援駐車場を整備すると障害のある方が今まで利用していた駐車場が利用できなくなるということになり、それはあってはならないと考えました。
そのため、既存の車椅子利用者用駐車施設を減らすことなく新たに小さな子どもを連れた方が利用できるような、子育てを応援する駐車場ができたら、障害のある方は今まで通り車椅子利用者用駐車施設を利用でき、また小さな子どもで障害のある方を連れている場合は、車椅子利用者用駐車施設も子育て応援駐車場も利用できます。子育て世帯が利用しやすい駐車場を増やしたいと考え、報道発表では掲載の図を使用しました。
ベビーカーを利用し小さい子どもでなおかつ障害のある方は、子育て応援駐車場を利用することができます。
子育て応援駐車場の設置に要する費用について補助金を交付するが、既存の車椅子利用者用駐車施設を塗り替えて整備する駐車場については補助対象にしないことにしています。
既存の車椅子利用者用駐車施設を確保しつつ、新たに子育て駐車場を整備する部分について補助金を交付します。補助金の認定に当たっては審査をし、既存の車椅子利用者用駐車施設の利用者には迷惑を掛けないように進めていきます。

古川副会長

基本目標2(2)の評価指標「地域教育ボランティアの活動人数」が令和6年度は前年と比較して大きく増加しているが、延べ人数なのでしょうか。

事務局

複数の事業のボランティアの活動人数の合計であるため延べ人数であるかどうか確認できていません。令和6年度で増加した要因としてはコミュニテースクール事業によるものと推察されます。

佐野会長より閉会の挨拶